

野村ユニソン株式会社 SBT認定取得のお知らせ

FA関連装置設計・製造(液晶/半導体/車関連等)、精密熱間中空鍛造、各種ダイカスト、酒類販売、医療機器開発等の事業を行う野村ユニソン株式会社(本社茅野市、野村高城社長)は、2030年に向けた温室効果ガス削減目標について国際的な環境団体「SBTイニシアチブ」による認定を取得しました。



この度、野村ユニソン株式会社は、中小企業版 S B T の認定を取得できましたことをご報告いたします。

弊社は、10年ビジョンとして掲げる NU ビジョン 2033 「UNISON ブランドで ともに幸せをつくるパートナー となります」の実現に向け、社会の持続可能性に資する「サステナビリティ経営方針」上の重要課題である「脱炭素社会への貢献」*に全社一丸となって取り組んでおります。今回は、その目標設定及び社内外への意思表示として S B T 認定を申請し取得いたしました。

弊社のお客様、特にプライム上場企業様にとって課題となってきた Scope 3 を含むサプライチェーンの脱炭素化においては、弊社のように部品・装置の供給を担う中小企業にも排出量の正確な把握及びその削減が求められ、更に今後カーボンプライシング(炭素税、排出量取引等)の導入を機にその要求が高まると見られています。弊社は既に SBT 認定申請に準じた形で CDP(企業などの気候変動や温室効果ガス排出削減に向けた戦略や取り組みを評価・情報開示する国際環境 NGO) のサプライチェーンプログラムの質問書に回答しており、お客様の削減要求に確かな実績データで応えることを目指し活動していきます。

今回認定取得した当社の温室効果ガス排出削減目標

・「Scope1」及び「Scope2」について

2030年度までに合計排出量を2018年度基準で50%削減する

・「Scope3」について

排出量を把握し削減することを約束する

Scope 1 : 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

Scope 2 : 他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う温室効果ガスの間接排出

Scope 3 : Scope 1 と Scope 2 を除く温室効果ガスの間接排出

弊社は以下のような多岐に渡る施策により SBT 達成に挑戦します。

- ・ 全社横断ゼロカーボン推進委員会の設置（済）
- ・ 資源エネルギー庁指定特定事業者としての対応継続・強化（2013年～）
- ・ 温室効果ガス排出量算定システムの運用（開始済）
- ・ 国の補助事業である「省エネ診断・支援」による省エネ施策の立案・実行（診断済）
- ・ 再生可能（非化石）エネルギー（燃料・電気）の利用拡大
- ・ LP ガス燃焼型装置の電化＋グリーン電気の利用
- ・ 自動化（独自技術活用）による生産効率向上・省エネ化
- ・ CSR（グリーン）調達の導入・拡大（Scope 3）
- ・ 水素等の次世代燃料型装置の導入開発、他

◆今後サステナビリティへの取り組みについては弊社 Web サイトにてご紹介していきます

注記：

*SBT（Science Based Targets、科学的根拠に基づく目標）とは、産業革命前からの世界の気温上昇を、2°Cを十分に下回るまたは 1.5°C未満に抑えることを目指す「パリ協定」（2015年）が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標を指します。

*SBT イニシアチブ(SBTi)とは、CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI、WWF が共同で設立した国際 NGO で、企業は SBTi が定める認定基準を満たすように温室効果ガスの削減目標を設定し、これが認められれば、SBT 認定を受けることができます。

(SBTi Web サイト：<https://sciencebasedtargets.org/>)

*「脱炭素社会への貢献」の一つとして「長野県グリーンボンドへの投資」を行なっております。

【お問い合わせ先】

住所：〒391-0001 長野県茅野市ちの650

電話：0266-72-6151（代）

メール：info@nomura-g.co.jp